

ラチスフェンス

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないで下さい。

■施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書にしたがってください。
また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡し下さい。

■使用上のご注意

- フェンスをゆすったり、乗ったり、寄りかかったりしないで下さい。
- フェンスに雨具・洗濯物・布団等をのせないで下さい。

■梱包明細書

①柱セット

名 称	員 数
柱	1

②パネルセット

名 称	員 数
パネル	1

③笠木・下柵セット

名 称	員 数	
	1スパン用	2スパン用
笠木（1スパン用） L=1500	1	—
笠木（2スパン用） L=2700	—	1
下柵 L=1136	1	2
下柵固定アングル	2	4
下柵組付ネジ $\phi 4.1 \times 16$ 丸木ネジ	4	8
笠木組付釘 ステンレスクリュー釘 L=75	4	6
取付説明書	1	1

④柱固定金具1セット

名 称	員 数
柱固定金具1	1
柱固定金具組付ネジ $\phi 8 \times 40$ 六角1種	6
柱組付ネジ $\phi 5.1 \times 32$ 丸木ネジ	9

⑤柱固定金具2セット（フリーコーナー柱用）

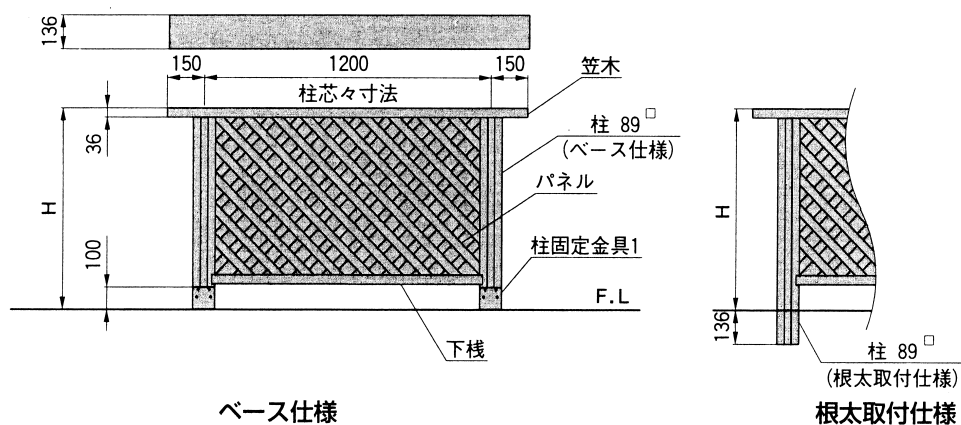
名 称	員 数
柱固定金具2	2
柱固定金具組付ネジ $\phi 8 \times 40$ 六角1種	6
柱組付ネジ $\phi 5.1 \times 32$ 丸木ネジ	9

⑥笠木端部キャップセット（オプション）

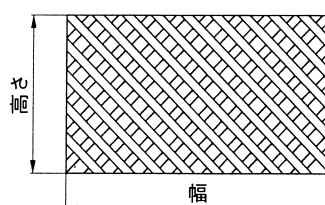
名 称	員 数
笠木端部キャップ	2
笠木端部キャップ組付ネジ $\phi 4.1 \times 20$ サラ木ネジ	4

1. 基本寸法図

1-1 本体の基本寸法



呼称	H	パネルサイズ	
		幅	高さ
T-6	600	1124	457
T-8	800		657
T-10	1000		857
T-12	1200		1057

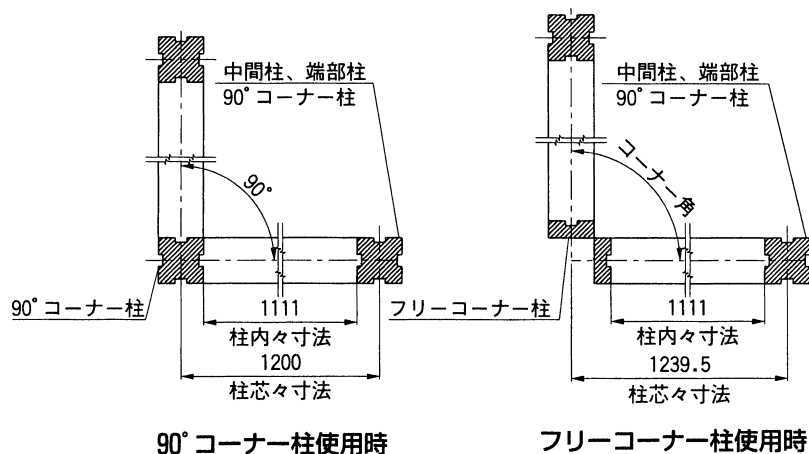


<注 意>

- フリーコーナー柱に根太取付仕様の設定はありません。

1. つづき

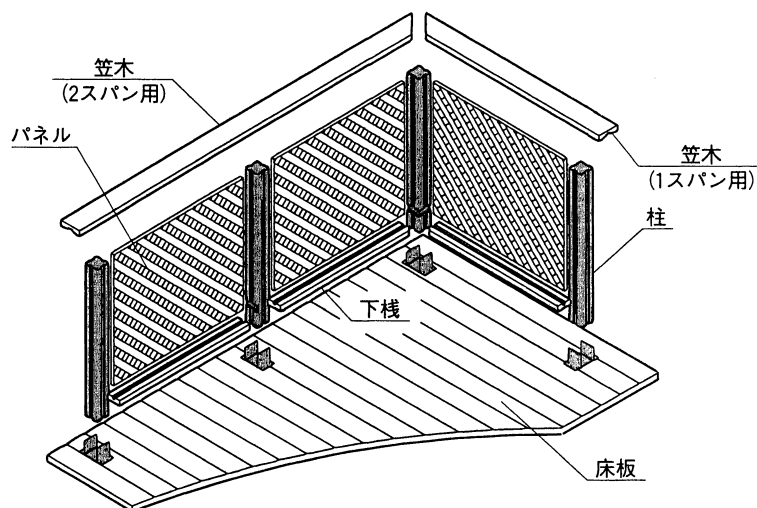
1-2 コーナー部の基本寸法



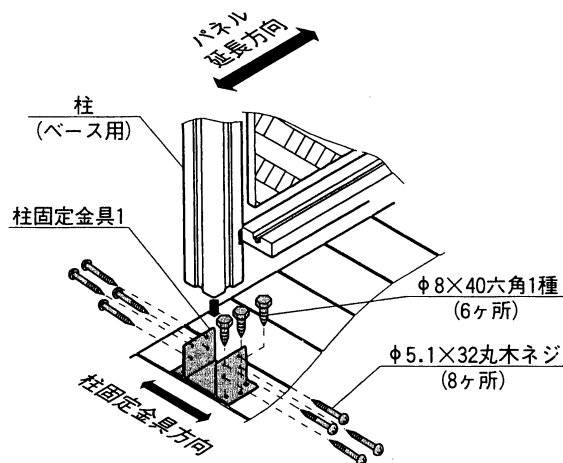
<注 意>

- コーナー角の対応角は180°～75°です。
- 左図は90°コーナーの納り例ですので、施工時には柱内々寸法を基準にして下さい。

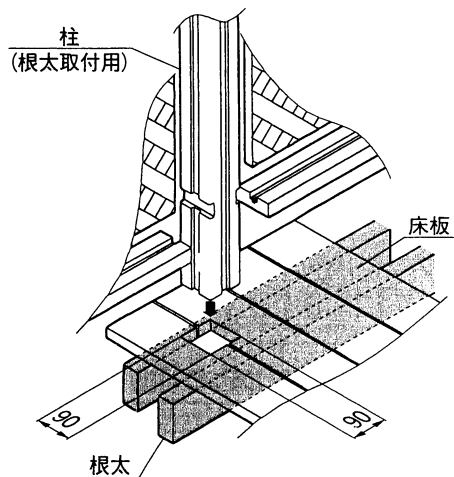
2. 本体の施工



2-1 柱の固定(ベース仕様)

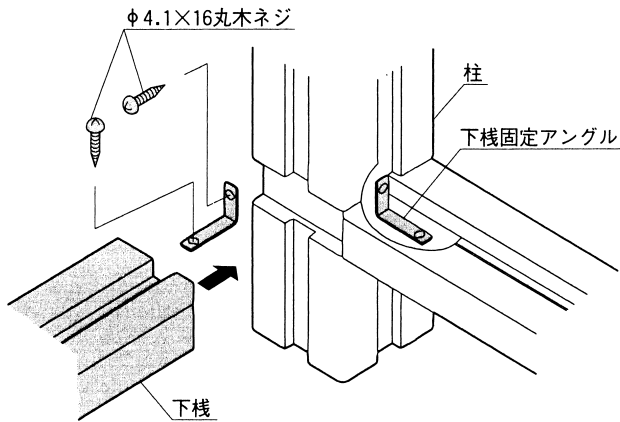


2-2 柱の固定(根太取付仕様)



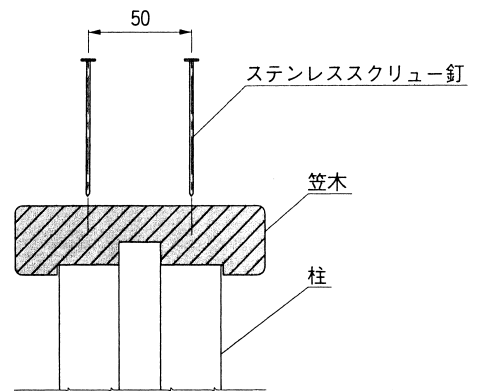
- <注 意>
- ① 柱位置を決め、柱固定金具1を床板に固定して下さい。
 - ① 柱位置を決め、床板に柱孔加工を施して下さい。
 - 柱固定金具1は、パネル延長方向と直角にして下さい。
 - ② 基礎部の根太等にしっかりと柱を固定して下さい。

2-3 下棧の固定



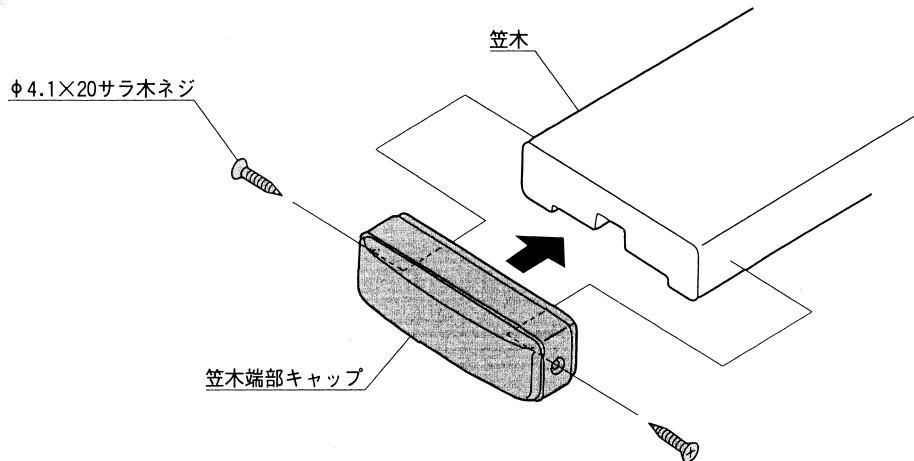
- ① 柱の切欠へ下棧を入れ、下棧固定アングルを用いて固定して下さい。

2-4 笠木の固定

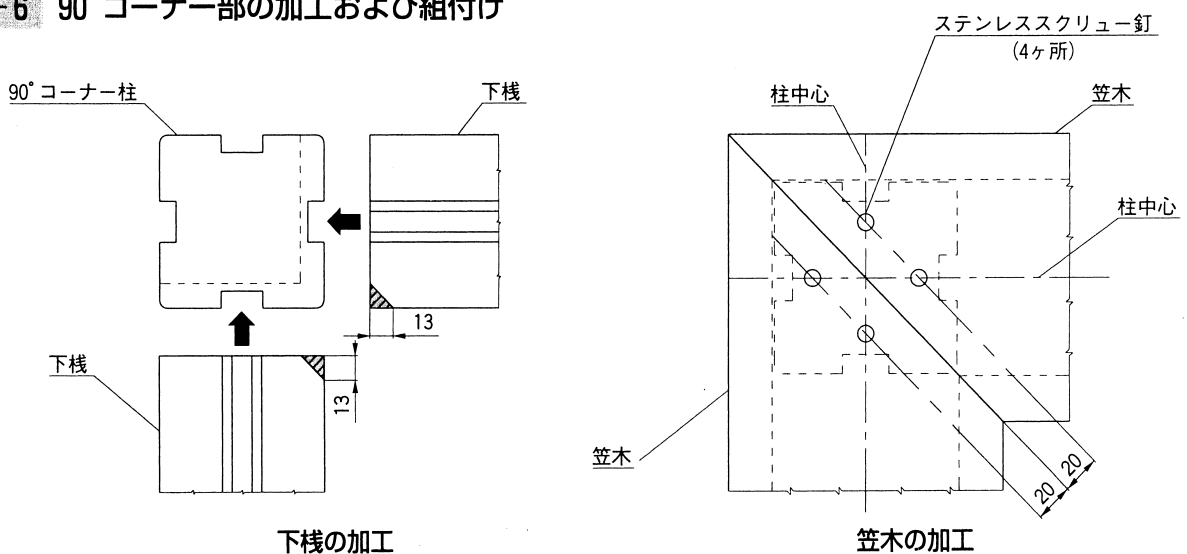


- ① パネルを柱間に挿入した後、笠木を組付けます。
<注意>
● 釘で固定する際、打ち込み位置に注意して下さい。

2-5 笠木端部キャップの組付け(オプション)



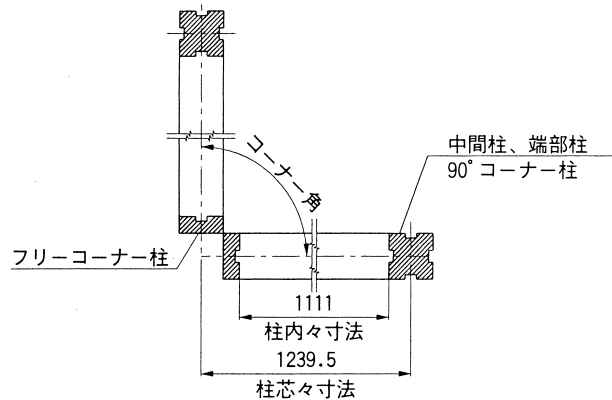
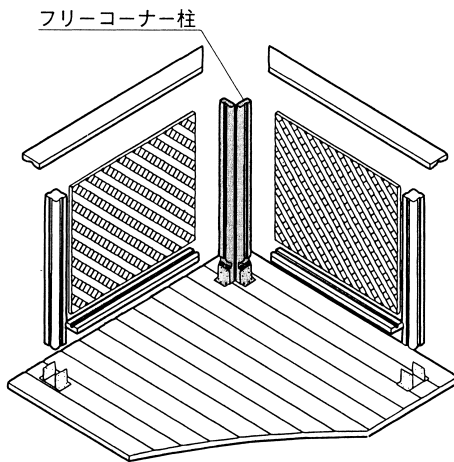
2-6 90° コーナー部の加工および組付け



- ① 下棧の加工は端部内側を13mm、45° カットして下さい。
- ② 笠木の加工は端部を45° カットして下さい。

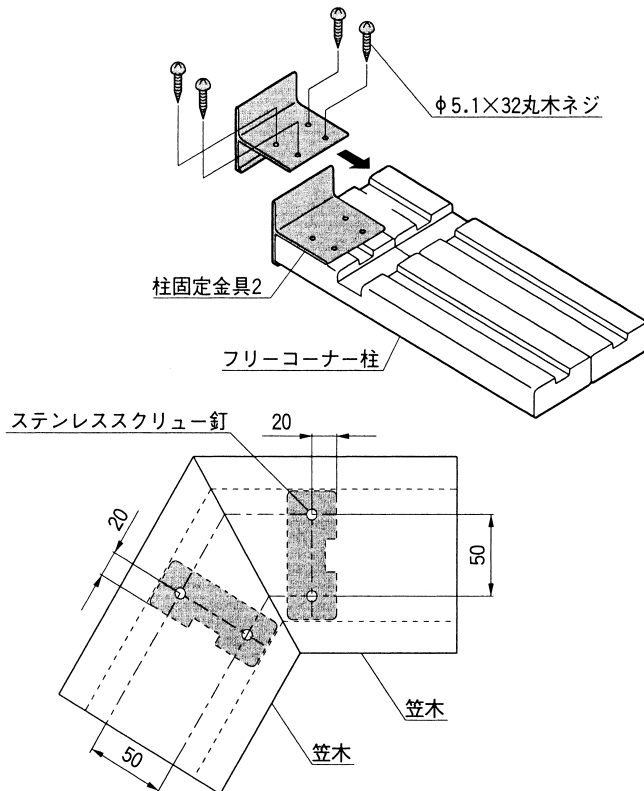
2.つづき

2-7 フリーコーナー柱の組付け



<注 意>

- フリーコーナー柱は施工寸法が異なりますので、柱内々寸法を基準にして下さい。



- ① コーナー角に注意し、床板に柱を固定します。

<注 意>

- あらかじめ、柱固定金具2を柱に組付けて下さい。
- 下枠を組付ける前に、柱を床板に固定して下さい。

- ② 笠木を角度に合わせて加工して下さい。

- ③ 釘の固定位置は左図寸法を参考にして下さい。

工事店様へ

- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 木製部は保護着色塗装がしてあり、経年変化で退色します。当社純正塗料で1～2年に1回位再塗装することをおすすめします。
- ニスやペンキは絶対に使用しないで下さい。ひび割れの原因となります。

取説コード

C175

97-01A